

---

---

## 「浅沼組が協力会社協働による 作業所生産性向上策 表彰式・発表会を開催」

---

---

株式会社浅沼組（本社：大阪市、代表取締役社長 浅沼誠）は、10月29日に第3回協力会社協働による作業所生産性向上策 表彰式・発表会を開催いたしました。

この取り組みは、浅沼健一前社長の「浅沼組が将来にわたり持続的成長をするためには、共に作業所で働く協力会社様からの生の声を聞き、知恵を出し合うことが不可欠」という考えから、2017年度より始めた協力会社で構成される弥生会と当社による定期的な意見交換会から生まれた取り組みのひとつであり、また当社の中期3ヵ年計画の施策においても「協力会社との協働による生産性向上」を策定しております。

表彰式・発表会の開催に先立ち、浅沼誠社長より以下の挨拶がありました。

（浅沼誠社長 挨拶要旨）

作業所の生産性を向上させるには、協力会社様との協働による作業所独自のアイデアをもとに具現化した取り組みを情報収集し、会社全体に水平展開することが非常に有効だと考えています。

そうしたことから今回の応募数が前回より15編多い47編となり、同時に募集した創意工夫策も10編多い30編となり、年々応募数が増加していることは、非常にうれしく思います。

そして、本年度からスタートした中期3ヵ年計画の基本方針として【浅沼組らしさ（独自性）を深耕させ「変化に挑戦】を掲げましたが、わたしは今回の生産性向上策や創意工夫策こそが、浅沼組らしさ（独自性）の大きな柱のひとつだと確信しています。

今回の発表内容に刺激を受けることにより、共に作業所で働く協力会社様と知恵を出し合い、さらに沢山の生産性向上策が集まることを祈念しています。

この表彰式・発表会では、広く募集した当社の各作業所における生産性の向上策の中から、社員投票及び審査によって選考された社長賞2件と優秀賞3件が表彰され、その後、受賞した5演題（後掲）の発表がありました。発表会は、工期短縮への効果や費用対効果など、生産性の向上には新技術への対応だけでなく、努力と創意工夫が大事であることなどが共有できたと考えています。



社長挨拶



表彰式 (大阪・東京)



社長賞 発表



優秀賞の発表

○ 発表演題

発 表 演 題	
1 (社長賞 1)	「ユニット型枠による型枠施工の歩掛り向上施策」 大和郡山市新庁舎建設工事作業所 第五建設株式会社
2 (社長賞 2)	「既設シールド接続工における機内薬液注入工法の採用」 広島旭町シールド作業所 ライト工業株式会社
3 (優秀賞 1)	「開口養生システムを用いた開閉可能な雨養生」 京セラ株式会社滋賀八日市工場 1階装置付帯設備工事作業所 南都産業株式会社
4 (優秀賞 2)	「床打継レベルアングル固定の省力化」 (仮称)DPL 横浜港北Ⅰ新築工事作業所 株式会社アシスト高橋
5 (優秀賞 3)	「TNF 工法について」 (仮称)伊勢原新工場作業所 東北企業株式会社

お問合せ先

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町3丁目24番1号

株式会社浅沼組 技術研究所 立松 和彦

TEL 072-661-1620 FAX 072-661-1730